

体験の風を  
おこそう

開所 30 周年記念誌



独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立吉備青少年自然の家



## 目次

○国立吉備青少年自然の家所長あいさつ	—————	P1
○独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長あいさつ	—	P2
○国立吉備青少年自然の家の目指す姿	—————	P3
○30年のあゆみ (昭和52～57年)	—————	P4～5
	(昭和58～60年)	————— P6～7
	(昭和61～63年)	————— P8～9
	(平成元～ 3年)	————— P10～11
	(平成 4～ 6年)	————— P12～13
	(平成 7～ 9年)	————— P14～15
	(平成10～12年)	————— P16～17
	(平成13～15年)	————— P18～19
	(平成16～18年)	————— P20～21
	(平成19～21年)	————— P22～23
	(平成22～24年)	————— P24～25
○事 業	—————	P26～27
○利用状況	—————	P28
○沿革・組織	—————	P29
○運営委員会委員・施設業務運営委員会委員	—————	P30～31
○歴代職員	—————	P32～33

## 30周年のごあいさつ

独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立吉備青少年自然の家

所長 小林 道正



「森のスタジアム」(フィールドアスレチック)の砦から「こんにちは」と元気な声で挨拶してくれました。遠足で来ている幼稚園の子どもたちです。河川敷では小学生くらいの男の子が、大きなバツタを捕まえて自慢そうに見せてくれました。鳴滝湖では、中学生が大きな声で「オー！エス！」のかけ声を響かせて一生懸命に櫂を操作していました。どの子どもたちも笑顔でいっぱいです。

国立吉備青少年自然の家は、今年で30周年を迎えることができました。利用してくださった人数は、今年で延べ290万人を超えました。来年は300万人を突破することができそうです。これまでにご支援を賜りました文部科学省、岡山県、吉備中央町をはじめ、近隣地域の自治体や学校、青少年教育団体など、関係する多くの皆様に改めて心よりお礼申し上げます。

本所は、岡山県のほぼ中央に位置する標高350mの吉備高原にあります。キツツキやフクロウが棲んでいるアカマツの森、ホタルやイモリがいる小川や鳴滝湖などの豊かな自然にかこまれています。学制百年を記念して計画された国立少年自然の家の第7番目の施設として昭和57年4月に設置され、以来、仲間と一緒に生活し自然の中で活動することを通して、規律正しい生活、健康な体、豊かな心、深く考える力を培ってきました。

本所の活動プログラムの特色に、内陸の施設でありながら鳴滝湖で行っている「カッター活動」や、豊かな自然環境や星空などを対象とした観察活動があります。そして、野外炊事やオリエンテーリングなどの様々な野外活動をあげることができます。これらの活動を組み合わせることによって、日帰り利用から長期集団宿泊活動を実施することができます。

これからも「体験の風をおこそう」運動に積極的に取り組み、カッター活動、ハイキング、野外炊事、天体や動植物の観察等の自然体験・生活体験活動を充実させ、子どもたちの健全育成に関わる当施設に課せられた責務を改めて自覚し、より魅力ある利用しやすい施設になるよう、職員一丸となって鋭意努力を続けてまいります。

関係各位におかれましては、当自然の家の活動の趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げますとともに、今後も引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 開所30周年に寄せて

独立行政法人  
国立青少年教育振興機構

理事長 田中 壮一郎



この度、国立吉備青少年自然の家は開所30周年を迎えることができました。当施設が、我が国第7番目の国立少年自然の家として、昭和57年4月に設置されて以来、延べ約289万人の方々に、様々な体験活動の機会と場を提供し続けてこられましたのも、ひとえに関係各位の深い御理解と変わらぬ御支援の賜物であり、心より感謝を申し上げます。

当施設は、標高350メートルの丘陵地の豊かな自然の中に立地していることを活かし、森の仕組みを体験し環境保護について考える活動、鳥や昆虫などの生き物を知る活動、吉備高原の満点の星空を体験する活動など、多くの自然体験活動を子どもたちに提供してきました。こうした活動を通して、子どもたちは、自然の中でのびのびと思いきり体を動かしながら感動を共有し、心身ともに成長してきたと思います。

今日、子どもたちの学力低下が心配され、いじめや自殺、不登校といった子どもたちを取巻く状況が大きく社会問題化しています。同時に、子どもたちの体力に目を向けてみますと、平成19年以降若干向上していますが、昭和61年頃から長期にわたり低下傾向が続いていました。いじめをなくし学力を高めるためにも、子どもたちの体力を向上させ、やる気や頑張る気持ち、我慢する力、思いやる心などを育成することが大切ではないでしょうか。

従来、子どもたちは、家庭や地域で、異年齢の子どもや大人との様々な活動を通して、体力はもとより、発達段階に応じ必要な資質を育みながら成長してきたと思います。しかし、近年の子どもたちの日常を見ますと、核家族化や少子化など、様々な社会の変化の中で、家庭や地域社会の中での人間関係が希薄化し、従来のような成長過程に即した多様な活動を体験できない子どもが増加しています。今後は、これまで以上に各地域において、保護者はもとより地域の大人が協力・連携し、意図的・計画的に地域の子どもの様々な活動の機会や場を作るなど、地域の人々が協力して家庭や地域の教育力を高めていくことが重要です。

こうした状況を踏まえ、当機構では、青少年関係団体と連携し、子どもたちの体験の重要性を広く家庭や社会に普及啓発し、様々な活動の促進・充実を図ることを目的とした「体験の風をおこそう」運動を展開しています。是非、皆様方の御協力と御支援をお願い申し上げます。

最後に、改めまして、今日まで御支援いただきました地元関係者の皆様をはじめ、全国の関係各位に心から感謝を申し上げますとともに、引き続き、当施設及び当機構の諸活動に御協力、御支援を賜りますことをお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成24年11月2日



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

# 国立吉備青少年自然の家の目指す姿

## 運営方針

吉備が提供する活動プログラムの特色は、カッター活動や星空観察、野外炊事やオリエンテーリングなどの野外体験活動と吉備高原の森と野川を探究する自然観察活動である。

野外体験活動では安全を第一に力を合わせて協力し合うことの大切さや規範意識の向上などをねらい、また、自然観察活動では、四季折々の自然を観察する活動を通して、様々な生き物同士の関係や自然現象の仕組みの巧妙さに感動する場面を提供し、自然とふれあうことの楽しさを味わうことをねらっており、これらは吉備の30年間に及ぶ歴代職員によって蓄積された成果である。

こうした自然環境や職員の指導力を十分に生かして青少年の健全育成につなげることができるよう、我が国のナショナルセンターとしての役割を果たすことを運営方針とする。

## 事業運営の基本的な考え方

学校教育と連携しながら、子どもたちの「生きる力」を育む活動を積極的に提供する。

- ① 吉備高原の豊かな自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や敬虔の念を培う。
- ② 人と自然とのふれあいの中で、規律、協同、友愛及び奉仕の精神を涵養する。
- ③ 自然の中で心身を鍛練し、自ら実践し、豊かな個性と創造する態度を育てる。

### 教育事業

1. 青少年教育に関するモデル的プログラムの開発
2. 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上
3. 青少年の体験活動等の重要性についての普及・啓発
4. 青少年の国際交流の推進

### 研修支援事業

1. 研修目的の達成に向けた教育的な指導・助言
  - 効果的な研修計画策定のための支援
  - 指導者等の指導力向上のための支援
2. 集団宿泊体験や自然体験などを通じた学ぶ場や様々な機会の提供

### 子ども ゆめ基金事業

子どもの体験活動や読書活動の振興を図るための普及啓発



### 業務運営

1. 安全・安心な施設・設備、環境の整備と充実
2. 職員の資質や専門性を高め、指導力やサービスの向上



### 「体験の風をおこそう」運動

社会全体で体験活動を推進する機運を高めるための運動を推進



### 「早寝早起き朝ごはん」運動

1. 子どもの望ましい基本的な生活習慣を育成し、様々な活動にいきいきと取り組めるよう生活リズムの向上を図るための運動を推進
2. 地域全体で家庭の教育力を支える社会的機運の醸成を図るための運動を推進





# 30年のあゆみ

●：施設整備   ■：事業   ◆：その他

## 昭和52年～56年度 設置決定から準備室開設まで

- ◆文部省が学制百年記念事業の一環として、国立少年自然の家を設置することとし、国立第7少年自然の家を岡山県に設置することを決定 昭和52年11月
- 「国立第7（岡山県）少年自然の家の整備にかかる基本設計」が完成し、敷地調査・造成工事及び地元協力事業等開始 昭和53年4月
- 宿泊棟、連絡橋等の本体工事開始 昭和55年10月
- ◆文部省内に「国立吉備少年自然の家（仮称）設立準備室」を開設し、室長・主幹の2名を発令 昭和56年10月
- ◆「所章」制定 昭和57年3月

## 昭和57年度 一部受入事業開始、開所式まで

- ◆機関設置。文部省令を改正し、名称を「国立吉備少年自然の家」とする。所長以下職員が発令され、現地において業務を開始 4月
- ◆一部受入事業開始〔宿泊棟200名（二段ベッド）、キャンプ場300名〕 8月
- ◆ロッジ〔100名（寝袋）〕受入開始 11月



建設前の鳴滝ダム周辺



職員による道づくり作業



建設工事が着々と進行



一部受入事業開始

式典会場の様子



## 昭和58年度

- ◆第1回国立吉備少年自然の家運営委員会を開催 6月
- ◆開所式 10月23日
- 浮き栈橋、キャンプ場倉庫、野外炊事場、森のスタジアム完成

## 昭和59年度

- 天体観察室・カッター艇庫等完成 10月
- キャンプ場サル村・キジ村の炊事場拡張 10月
- キジ村に高床式テント設置 10月

## 昭和60年度

- 菜園場及び農機具庫等の完成 8月
- キャンプ場イヌ村・サル村に高床式テントを設置 8月
- ロジファイヤー場増設 11月



開所式会場の様子



瀬戸山三男文部大臣の挨拶



レセプション  
吉川小学校児童と吉備高原フラウエンコールの合唱



高梁・吉備高原 30km歩け大会

天体観察室完成



カッター活動開始



少年自然の家学生ボランティア研修

# 30年のあゆみ

●：施設整備    ■：事業    ◆：その他

## 昭和61年度

●ハイキングコース避難小屋完成

6月

## 昭和62年度

◆延宿泊者30万人達成記念行事

10月

■チアフルデー（第1回）スタート

10月

## 昭和63年度

●多目的（ふれあい）広場完成

8月



第1回文化講演会



在日外国青少年のつどい



延泊者 30万人達成  
記念行事



チアフルデー（第1回）スタート



森のスタジアム  
化粧なおし



厳冬の吉備高原に挑む少年のつどい  
(わら小屋づくり)



## 平成元年度

- キャンプ場の各村に食台設置

## 平成2年度

- ◆ 延宿泊者50万人達成記念行事 6月8日
- 駐車場トイレ完成
- フラワーロード（駐車場から玄関前）の整備（協力「社会福祉法人吉備の里」）
- つどいの広場へ放送設備を新設

## 平成3年度

- 食堂に空調（冷房）設備



キャンプ場食台設置



瀬戸大橋でむすぶ  
中・四国子どもつどい



延宿泊者 50 万人達成記念行事

少年自然の家にフラワーロード登場



つどいの広場へ放送設備を新設

「厳冬に挑む少年のつどい」



鏡ヶ成キャンプ場



象山登山



中国山地  
トライアルウォーク  
友達と歩く 150kmの旅



## 平成4年度

■学校週5日制対応事業スタート

◆10周年記念式典

11月12日

## 平成5年度

●ロッジリーダー室2室新設  
シャワー室改修、温水シャワー増設  
炊事場1棟新設

●キャンプ場（キジ村）テントロッジ型に更新

3月

## 平成6年度

●キャンプ場シャワー室温水シャワー増設

8月

●キャンプ場（キジ・サル村）トイレ水洗式に改修

12月

国立吉備少年自然の家創立10周年記念式典



10周年記念式典



カッター 1艇追加 4艇に



吉備高原の四季を学ぶつどい



親子ふれあい  
体験農園



川と伝説を求めて



水不足で  
活動に影響



いかだ乗り場



## 平成7年度

- ◆延宿泊者80万人達成 6月21日
- 国際交流キャンプ 10月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

【震】阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件、金融機関の倒産などに“震えた”。

## 平成8年度

- 屋内多目的活動施設（クラフト棟）竣工式
- 建物外壁・内壁塗装工事、屋根改修工事、一部空調機（冷房）の改修
- ◆宿泊棟室名「お⇒はる」「か⇒なつ」「や⇒あき」「ま⇒ふゆ」に及び、「つどいの広場⇒ふれあいホール」に変更
- マウンテンバイクコース完成（職員の手作りによる）

この年の  
世相を表す  
漢字一字

【食】O-157による集団食中毒や牛海綿状脳症の発生、税金や福祉を「食いもの」にした汚職事件が多発した。

## 平成9年度

- ◆小杉隆文部大臣「子どもと話そう！」全国キャンペーン視察 8月6日～7日
- クラフト棟竣工 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

【倒】銀行の破綻、大型企業の倒産の続出やサッカー日本代表が並みいる強豪を倒してFIFAワールドカップ初出場。



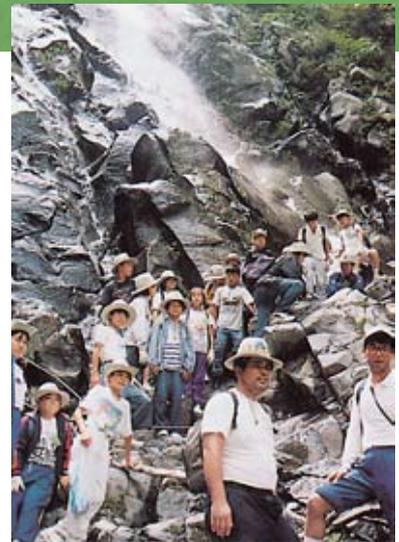
常設ロッジ型テント



国際交流キャンプ



クラフト棟竣工式



大山山麓冒険キャンプ



小杉大臣視察 子どもたちとも交流



きびセカンドスクール



## 平成10年度

- ◆食事提供方式をバイキング方式に移行 4月
- ◆延宿泊者100万人達成 9月5日
- ◆所歌発表 3月21日

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【毒】** 和歌山のカレー毒物混入事件、ダイオキシンや環境ホルモンなどへの不安が高まる。

## 平成11年度

- ◆キャッチコピー「きびの森ネイチャーランド」に
- キャンプ場（キジ村）テント、ロッジシュラフ、マウンテンバイク部を更新 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【末】** 世紀末、1000年代の末。東海村JCO臨界事故の発生など信じられない事件が続出して、「世も末」と実感。翌年へ「末広がり」を期待して。

## 平成12年度

- 宿泊棟洗面所・トイレ改修
- 宿泊棟（はる、なつ）の二段ベッド及び寝具を更新 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【金】** シドニーオリンピックで、女子フルマラソンの高橋尚子選手、女子柔道の田村亮子選手が金メダル。南北朝鮮統一に向けた金大中氏と金正日氏による首脳会談の実現。新500円硬貨、二千円紙幣の登場。長寿姉妹のきんさんぎんさんの成田さんが逝去。



延宿泊者 100 万人達成記念行事



賀陽町富士登山チャレンジ事業



全国少年団体指導者研修



きびのくに  
わくわくどきどきクラブ



季節の花で所章を (中広場)



所のシンボルマークである「所章」を利用団体など知ってもらおうと所内の中庭に花で所章を作成しました。



三笠宮寛仁親王殿下  
「第13回岡山吉備高原車いす  
ふれあいロードレース大会」に  
ご臨席

きびの森  
バルーン探検隊  
新しい世紀を担う  
子どもたちのつどい



国少旗杯争奪  
新春小学生バレーボール交流大会



## 平成13年度

- ◆独立行政法人国立少年自然の家国立吉備少年自然の家に移行 4月1日
- 食堂ホール及び厨房改修（200人から250人定員へ） 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【戦】** アメリカ同時多発テロ事件で世界情勢が一変し、対テロ戦争、炭そ菌との戦い、世界的な不況との戦いが起きる。

## 平成14年度

- レストラン「きびの森」リニューアルオープン 4月
- ◆延利用者200万人達成 10月21日
- ◆20周年記念式典 11月22日
- ハイキングコース整備

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【帰】** 初の日朝首脳会談により北朝鮮に拉致された方の帰国、日本経済がバブル期以前の水準に戻ったこと、昔の歌や童謡のリバイバル大ヒットなど「原点回帰」。

## 平成15年度

- 広域交流事業 “ともだちの輪” 8月
- きび宇宙クラブ 9月～11月
- 逆説もも太郎伝説 12月
- 防犯カメラ設置工事 12月
- 多目的グラウンド整備 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【虎】** 阪神タイガースの18年ぶりのリーグ優勝。衆議院選挙への маниフェスト 初導入で政治家が声高に政策を唱えたことや、「虎の尾を踏む」ような自衛隊イラク派遣問題など。

吉備自然探検隊



カワセミクラブ



森のスタジアムに  
新しい仲間登場

レストラン「きびの森」リニューアルオープン



食堂ホール風景



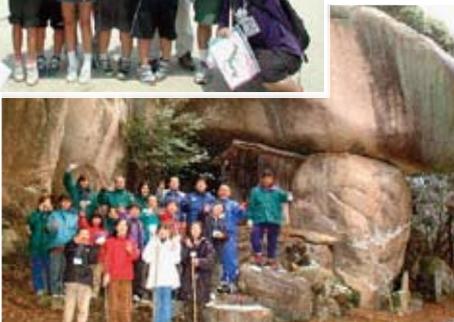
ホールをかざる壁画



サマーチャレンジ in きび  
～めざせ!! 山の達人! 海の達人!～



広域交流事業



きび宇宙クラブ

逆説もも太郎伝説



## 平成16年度

- ◆吉備高原はるみの丘運営開始 4月
- キャンプ“handinhand” 9月
- もも太郎サンデー 10月
- きびの森のふしぎを探検してみよう 12月
- 厳冬期キャンプ 2月
- 生活関連棟改修 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【災】** 新潟県中越地震発生。新潟・福島豪雨、福井豪雨。台風23号をはじめとする台風の連続上陸。浅間山の噴火などの次ぐ天災。イラクでの人質殺害や子どもの殺人事件、美浜原発の蒸気噴出事故など人災が多発。「災い転じて福となす」との思いを込めて。

## 平成17年度

- 祭りじゃ！温羅じゃ！うらじゃでハッスル!! 6月～8月
- わんぱく！ぼくらの9日!! 4月、8月
- 宿泊棟・レストラン厨房床改修 8月
- 灰捨て場新設 9月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【愛】** 紀宮清子内親王様のご成婚、愛知県で「愛・地球博」の開催、卓球の福原愛選手が中国で活躍するなど、各界で「アイちゃん」の愛称の女性が大活躍。一方で、子が親を殺すなど「愛の足りない事件」残忍な少年犯罪が多発。「愛」の必要性和「愛」の欠乏を実感。

## 平成18年度

- ◆組織改組に伴い、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立吉備青少年自然の家に移行 4月1日
- 「あつまれ！きびっこ探検隊」 4月、9月
- ハートフルプロジェクトキャンプ 9月
- ◆国立吉備青少年自然の家マスコットキャラクターの名称募集  
209件の応募の中から「ウーリー」と命名 6月
- ◆吉備高原はるみの丘運営終了 2月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【命】** 悠仁親王様のご誕生に日本中が祝福ムードに包まれた一方、いじめによる子どもたちの自殺、虐待、飲酒運転事故など、痛ましい事件が多発。北朝鮮の核実験。臓器移植事件、医師不足などによる命の不安など、ひとつとつかない命の重み、大切さを痛感。

「吉備高原はるみの丘」リニューアル記念式典



厳冬に挑む  
少年のつどい



岡山市表町にてうらじゃの披露

いかだ基地づくり



ピオトープづくり



流しそうめん体験



ウーリーの  
命名募集  
ポスター



## 平成19年度

- にんじゃっ子キャンプ 6月、9月、2月
- ◆ 延利用者数250万人達成 8月20日
- 飛びだそう！キャンパス！～教員を目指す学生の自然体験～ 9月
- 吉備発！自分発見伝 1月
- 研修棟に無線LAN設備設置 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【偽】** 食品表示偽装が次々と表面化したり、年金記録問題が発覚したりした。また、テレビ番組による捏造問題も起き、次々と「偽」が発覚し、何を信じたら良いのか分からなくなった。

## 平成20年度

- 小学校長期自然体験活動指導者養成研修 9月
- 小学校自然体験活動モデルプログラム開発 通年
- 施設ボランティア交流会MOステーション 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【変】** 日本の内閣総理大臣交代やアメリカのオバマ次期大統領の「チェンジ（変革）」、株価暴落や円高ドル安などの経済の変化、食の安全性に対する意識の変化、世界的規模の気象異変による地球温暖化問題の深刻化、スポーツや科学の分野での日本人の活躍に表れた時代の変化。政治、経済をはじめ、良くも悪くも様々な変化を感じた。

## 平成21年度

- 吉備の森アドベンチャーキャンプ 11月、12月
- 自然体験活動指導者養成フォローアップ研修 1月
- 中国ブロック青少年体験活動フォーラム in 岡山 2月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【新】** 自由民主党と公明党に替わる民主党の鳩山由紀夫新政権発足、アメリカのバラク・オバマ新大統領就任など、政治の一新に加え、裁判員制度や高速道路料金割り引きなど、様々な新制度のスタート、新型インフルエンザの流行、高速水着による競泳の世界新記録ラッシュ、イチローの9年連続200本安打の新記録などの世相を反映。



クライミングウォール



にんじゃっ子キャンプ



教員を目指す学生の  
自然体験

免許状更新講習



自然体験活動  
(オリエンテーリング)



小学校長期自然体験活動入所式



中国ブロック  
青少年体験活動フォーラム in 岡山



吉備の森  
アドベンチャーキャンプ



## 平成22年度

- 吉備の森自然体験隊 5月～9月、11月
- 指導者のための人間関係づくりセミナー 8月
- 吉備の森読書体験会 1月
- 空調設備大規模改修 3月
- エレベーター・電気設備改修 3月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【暑】** 夏の全国平均気温が観測史上最高を記録して、熱中症にかかる人が続出し、これに伴い野菜価格が高騰し、熊なども人里に出没。また、地中の「暑い」中から作業員全員が生還したコピアボ鉱山落盤事故や、1万度の突入温度から帰還した「はやぶさ」などを反映。

## 平成23年度

- 吉備の森フィールドチャレンジ 6月、7月、9月
- 子育て支援ハートフルキャンプ 10月、11月、2月
- 吉備高原いきいきファミリーウォーキング 11月
- 自動火災報知設備改修 1月

この年の  
世相を表す  
漢字一字

**【絆】** 東日本大震災や台風などによる大雨被害（平成23年7月新潟・福島豪雨、台風12号等）、ニュージーランド地震、タイ洪水などといった国内外で発生した自然災害などにより、家族や仲間など身近でかけがえのない人との絆を改めて感じたり、チームワークと信頼でFIFA女子ワールドカップに優勝したサッカー日本女子代表（なでしこジャパン）の姿などに感動し、勇気づけられたりするなど、多くの日本人が絆の大切さを改めて感じた。

## 平成24年度

- 吉備の森ネイチャーウォーキング 6月、9月
- ◆マスコットキャラクターやんちゃっこ～ウーリー～着ぐるみ制作 8月
- ◆30周年記念事業開催 11月2日



体験の風をおこそう

吉備の森自然体験隊



吉備の森読書体験会

日独勤労青少年交流



子育て支援  
ハートフルキャンプ

にんじゃっ子キャンプ



金環日食観察会



ネイチャーウォーキング



やんちゃっこウーリー  
着ぐるみ制作



年度 事業	S 57	S 58	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8
----------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(青)少年を対象とした事業	厳冬の吉備高原に挑む少年のつどい							厳冬に挑む少年のつどい							
	吉備高原の四季を学ぶつどい														
							中国山地ビッグ体験 トライアルウォーク		中国山地 トライアルウォーク		川と伝説を求めて				
							瀬戸大橋でむすぶ 中四国子どもつどい		吉備っ子 黒潮体験						国際交流キャンプ

親子等を対象とした事業		クリスマス 親子の つどい	親子で楽しむ カエデーシング のつどい	親子手作りひろば							親子ふれあい体験農園				
		豆まきのつどい	吉備高原で考える 親子野外教室												
	高梁～吉備 高原30km・ 歩け大会	歩こう吉備高原							吉備高原の自然の中で 親子のふれあいを		あふれる自然 の中で親子の ふれあいを	親子で楽しむ アウトドア教室			
												三世代スクール			
			国際平和記念事業・ 在日外国青少年 とのつどい												

指導者等を対象とした事業	集団宿泊指導担当者研修							野外活動実践講座Ⅰ(学校編)				野外活動実践講座				少年団体等
	子ども会等 指導者研修	少年団体・子ども会等指導者研修			野外活動実践講座Ⅱ(少年団体編)								集団宿泊 活動担当			
	地域ぐるみの 少年育成指導者研修	青少年 地域活動 指導者研修	自然教室 研修会							自然体験 活動担当 教員講習会						
	全国少年 団体指導 者研修	新任教員と 青少年教育 施設職員 のつどい	学校教職員と 青少年教育 施設職員 のつどい	西日本地区 国立青少年 教育施設 職員研修							青少年交流 フォーラム				西日本地区 ボランティア セミナー	
	学生 ボランティア リーダー 研修	少年自然の家 学生ボランティアリーダー研修			少年自然の家 学生ボランティア研修											

H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
氷点下！ ウィンター キャンプ	賀陽町富士登山 チャレンジ事業					広域交流 事業 とも だちの輪	スノー キャンプ IN競り成	表現ワークショップ 祭りじゃ温羅じゃうらじゃでハッスル!!							日独労青年 交流事業
子ども自然教室“きびの森のふしぎ”				吉備自然探検隊 “カワセミクラブ”			きびの森の ふしぎを探検 してみよう <small>(中学生の体験活動)</small>	あつまれ！ きびっ子探検隊						にんじゃっ子キャンプ	
青少年野外教室 大山山麓冒険キャンプ			サマーチャレンジ イン きび 21世紀への夢の架け橋 めざせアウトドアの達人 めざせ山の達人！海の達人				元気もり川 森のこはん」 もりもり クラブⅡ	わんぱく！ ぼくらの9日間!!							スポーツ選手活用 体力向上事業
			学社融合推進事業 飛び出せ学校！いきいきスクール			逆説 もも太郎 伝説	歴史・文化 への誘い 「吉備路伝説 を探ろう」			吉備発！自分発見伝 —小学生リーダー育成事業					
	トグザー ライフ みんな仲間だ	友遊体験 ふれあいスクール みんな仲間だ			悩みを抱える青少年の 体験活動推進事業			フレンドリー キャンプ		ハートフル プロジェクト				小学校長期自然体験活動 プログラム開発	
						きび宇宙 クラブ	君も宇宙博士 スペーススキズ			総合的な学習の時間における 「吉備高原の環境学習」			ピートーブ 連絡協力 促進事業	吉備の森 フィールド チャレンジ	
							「石っておもしろい！石好き クラブ(クラブ)」 どこでも ミュージアム エコー吉備								

親子ワイワイ農園															
				きびのくに わくわくどきどきクラブ		週末は親子でふれあう きびの森もも太郎サンデー		家庭教育 支援事業 事業で作る？ 夏野菜!						吉備の森アドベンチャーキャンプ	
親子リフレッシュプログラム ～なかよし家族チャレンジむら～ ～メルヘン広場インきび～		きびの森 パルーン探検隊 新しい世紀を 目指す子どもたち のつどい			悩みを抱える青少年の体験活動事業									吉備の森読書体験会	
				国少旗争奪新春小学生バレーボール交流大会 併催（オリンピック巡回指導事業）			キャンプ “hand in hand”			特別支援教育実践キャンプ “ハンド イン ハンド”				子育て支援 ハートフルキャンプ	

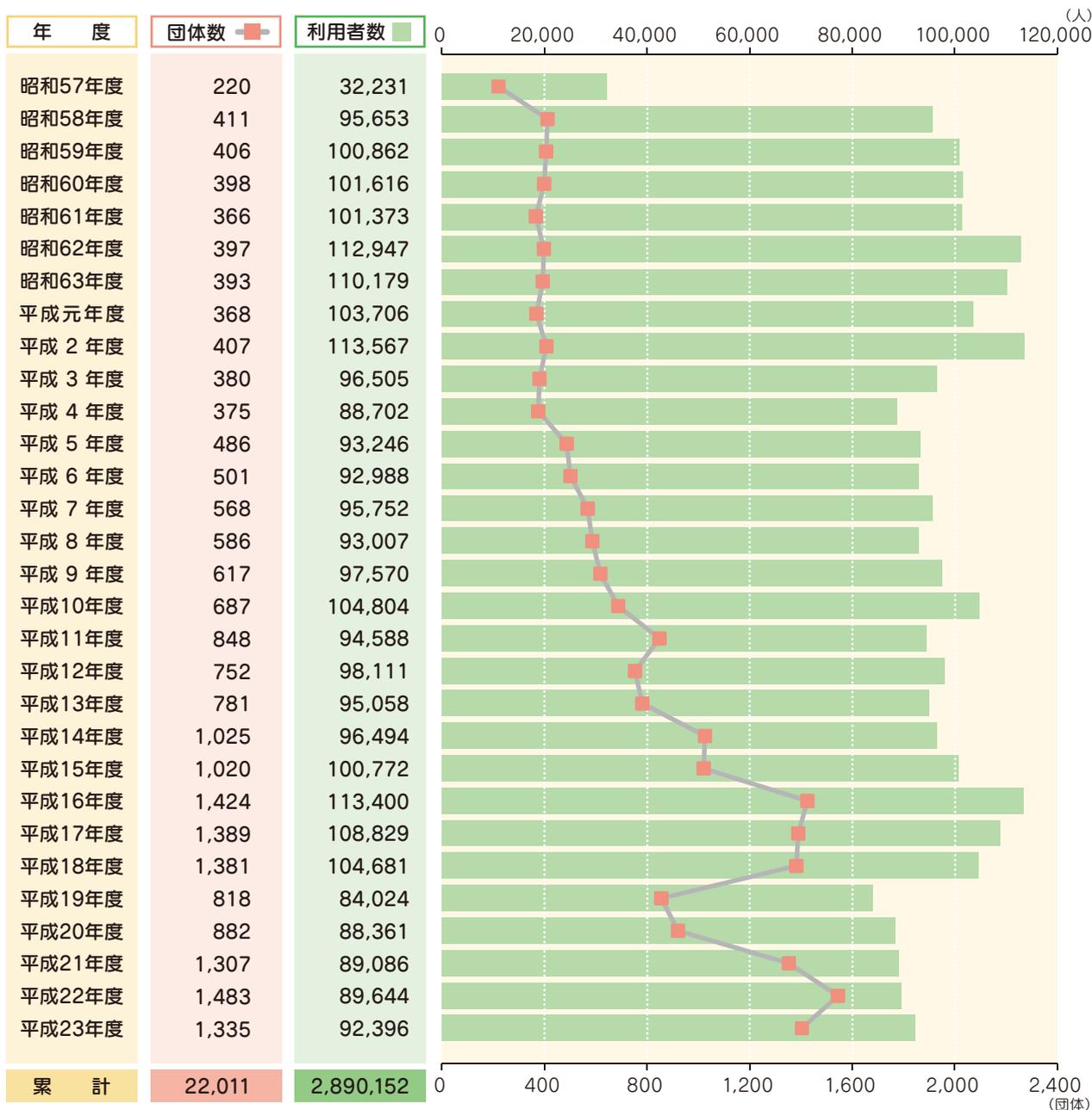
施設開故事業 “チアフルデー”

												宇宙クラブ	吉備の森 星空観察会	吉備の森 自然観察会
												吉備の森 自然探検隊	吉備高原 いきいき ファミリー ウォーキング	吉備の森 ネイチャー ウォーキング

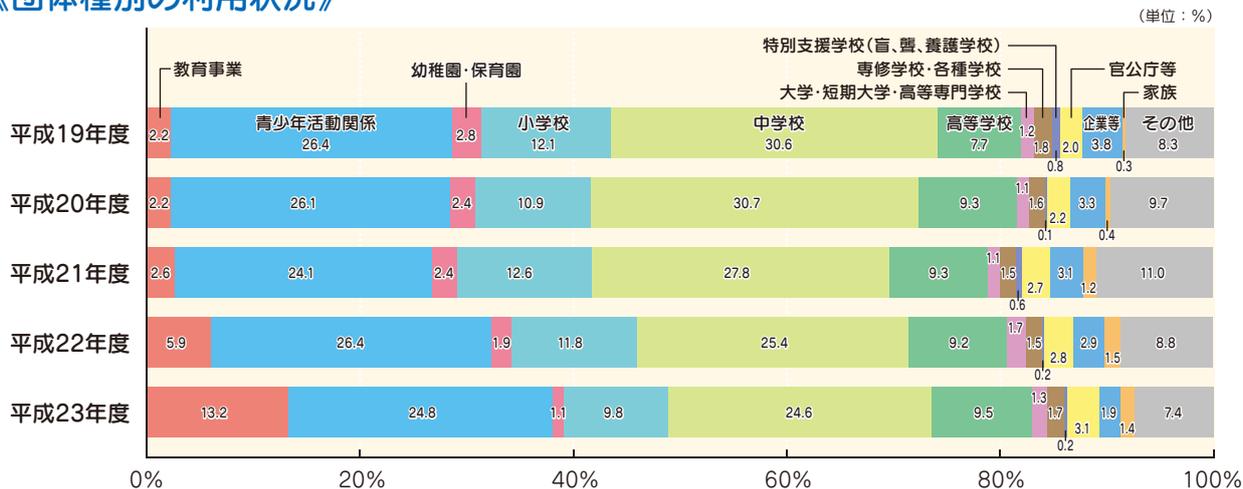
指導者研修	全国少年 団体指導 者研修	いろいろ発見 おもしろ体験 フレンドシップ in きび	野外活動企画 担当者セミナー			施設 ボランティア スタッフ研修								野外教育フェスタ	
自然体験 者研修	のびのび体験 ふれあい スクール							幼児教育等 指導者研修	環境教育 担当教員 講習会					教員免許状更新講習	
全国少年 自然の家 運営研究会			「生きる力」を育てる自然体験活動 担当者セミナー総合学習の導入に向けて	少年教育指導者 研修事業			全国青少年 団体指導者 研修自然体験 指導者研修							小学校長期自然体験活動指導者養成研修	
			中国・四国地区少年自然の家職員セミナー							飛び出そう！キャンパス！ —教員を目指す学生へ—				吉備ボランティア ステップアップ研修	
	西日本地区 国立青少年 教育職員研修		国立青少年 教育施設中堅 職員研修 ステップアップ研修会	野外活動 指導者 研修会		施設ボランティア 交流会								施設 ボランティア 交流会	自然体験活動指導者養成 フォローアップ研修
			少年自然の家 施設ボランティア研修											吉備ボランティア養成研修	
							「科学と教育」 と自然体験活動 (シンポジウム)			LD・ADHD・ 高機能自閉症 の児童生徒への 教育支援の在り方			中国ブロック 青少年体験 活動フォーラム in 岡山	指導者のため の人間関係 づくりセミナー	



## 利用状況



### 《団体種別の利用状況》



## 沿 革

国立オリンピック記念  
青少年総合センター

昭和40年4月

東京オリンピック（昭和39年）の選手村の跡地の一部を利用して、文部省所管の特殊法人オリンピック記念青少年総合センターとして発足

昭和55年5月

文部省所管の国立オリンピック記念青少年総合センターとなる

平成13年4月

文部科学省所管の独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センターとなる

## 国立青年の家

昭和34年4月

皇太子殿下（今上天皇）のご成婚を記念して国立中央青年の家を設置  
以降昭和51年までに全国13箇所に国立青年の家を設置

平成13年4月

文部科学省所管の独立行政法人国立青年の家となる

## 国立少年自然の家

昭和50年10月

「学制百年記念事業」の一環として、国立室戸少年自然の家を設置  
以降、平成3年までに全国14箇所に国立少年自然の家を設置

平成13年4月

文部科学省所管の独立行政法人国立少年自然の家となる

## 統 合

## 独立行政法人 国立青少年教育振興機構

平成18年4月、青少年教育3法人が統合して発足

国立オリンピック記念  
青少年総合センター

都市型の青少年教育施設として、青少年教育関係者等の学習活動を促進するための教育的支援を行っています。

## 国立青少年交流の家

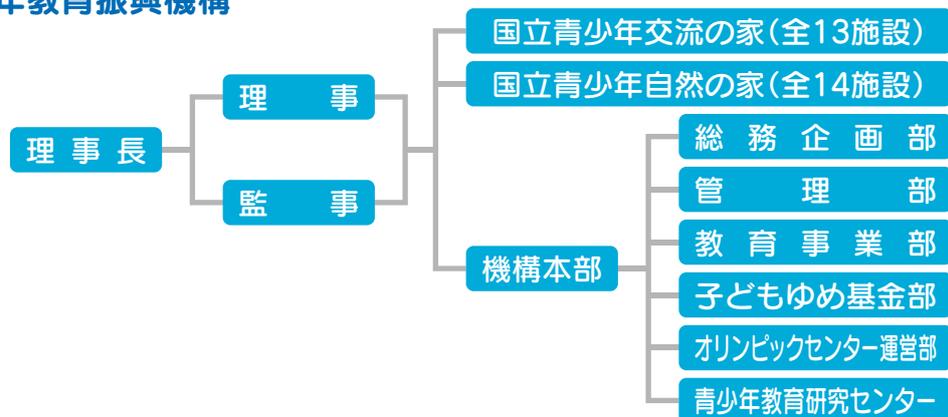
ボランティア活動や就労体験といった交流体験を中心とした教育プログラムの企画・実施を行っています。

## 国立青少年自然の家

野外活動や環境学習といった自然体験を中心とした教育プログラムの企画・実施を行っています。

## 組 織

## 1. 国立青少年教育振興機構



## 2. 国立吉備青少年自然の家



## 運営委員会委員・施設業務運営委員会委員

年度	運 営 委 員 会 委 員												
	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7
岡山県教育委員会	佐藤章一	宮地暢夫				竹内康夫				森崎岩之助			
広島県教育委員会	田所 論		吉岡典威	佐々木智三	沖山裕宣		天野一義		杉野 剛		安間敏雄		
鳥取県教育委員会	坂田昭三				山根和磨	門脇欽三		相見寿子				小林	
兵庫県教育委員会													
岡山県小学校長会会長	太田宗生	竹内虎男	榎崎 護	平山 要	小山 繁	古河三朗	金田睦弘	分島久志	藤原克己	内藤昇之助	高杉早苗	方川 淳	中村通朗
岡山県中学校長会会長	池上茂雄	妹尾 権	武村 肇	江見公雄	松井 朗		渡辺孝夫	須賀 明	中山晴人	佐藤博文	近藤 昂	田中泰彦	親 亮一
岡山県高等学校長協会会長	中谷 晃		阪本暁夫		榎野昭輝		中山重義		佃 幸男		戸村彰孝		國塩
賀陽町立吉川小学校長 (H16.10.1～吉備中央町立)	根木昭彦			佐藤克人			川上隆明			山下浩二			
加茂川町立加茂川中学校長 (H16.10.1～吉備中央町立)	片山典郎				榎崎 進			土屋 丹			合田正人		
	円城小学校長	御北小学校長											
賀陽町長 (H16.10.1～吉備中央町長)	赤木宣雄				竹竝 堅								
加茂川町長	中山照男												
加茂川町教育委員会教育長					富田 謙	片山典郎							
吉備高原高等学校長													
岡山県総合教育センター所長													
岡山県 PTA 連合会会長											森 学		
岡山県子ども会連合会会長	河崎展忠								小島一三 津山市連合会会長				
ガールスカウト日本連盟岡山県支部長		大徳富美子	長野洋子					佐藤トシ子					
日本ボーイスカウト岡山連盟理事長		金光整雄							副理事長				
日本放送協会岡山放送局長	岩瀬肇一	村上元一		今井和道		嶋林義邦		山田裕康	日置弘能		野原義徳		
山陽新聞社論説委員会主幹 (特別論説委員)					小寺 聡				井上 元		小寺 聡 論説委員会主幹		
岡山県レクリエーション協会													
社団法人岡山青年会議所理事長													
NPO 法人 CONE 公認自然体験活動コーディネーター(社)日本キャンプ協会公認 キャンプディレクターボーイスカウト 岡山連盟岡山第4団指導者													
吉川八幡宮文化財保存会会長													
学識経験者	谷口澄夫												
	吉備高原都市を育てる会会長												
		泉本哲夫											
		山陽新聞社論説委員会副主幹 論説委員		福武教育振興財団事務局長									
	伊原木一衛												
	岡山県商工会議所連合会会長												
	小野啓三												
	岡山県明るい県民運動推進協議会会長												
	片山嘉雄												
	津山工業高等専門学校長					就実女子大学文学部長							
	大熊立治												
	岡山県社会教育委員連絡協議会会長												
									宮地暢夫				
									岡山県立美術館長				
									岡山大学教育学部教授				



					施設業務運営委員会委員												
H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
黒瀬定生					牛島彰子		渡邊倫子		鍋島 豊			石田善顕		廣田 貢		久芳全晴	
角田紘治		荒谷信子		久田克好	河村暢男			高杉良知			平岡好一		畦地博之				
勉	石差英旺		神戸直樹	川口一彦	朝井正教	濱口豊明		山本仁志		横山ひとみ	松田佐恵子			高橋紀子		宮城絵理	
										滝波 泰	11/1	野田哲也		三木忠一	林 隆之		
森谷浩平	小坂光一	渡辺勝也	雙知正憲	徳田公裕	国司 宏	犬飼舜也	山本比香流	家光大蔵	岡崎明宏	菱川成雄	松原泰通	谷口俊郎	大野光二	成本智幸	平野和司	西村健一	
玉光源爾	吉廣俊三	楠田 廉	難波征進	重利忠弘	川上洋一	守屋宣男	中田 勲	福田宇一	大山正治	佐川弘治郎	森 啓介	岡本利和	小林英一	岩堂秀明	平松 茂	岩藤公明	
輝昭	古市誠祠	岸本憲二	野嶋淳一														
井上弘志			杉山 豊			中山広人			畦田正博								
真野義一				津島雅章				坂本彰伸									
2/20				重森計己													

10/1		毛利 政															
					永易恒夫		有吉一行					木畑廣伸					
										木多信俊		松沢克彦					
片山 肇			中村徹夫			山本照雅			11/8		太田豊秋			藤谷幸弘			
					藤原秀彦												
5/1		小林比禮子		山本富子		小林比禮子											
西田全司					副連盟長												
金丸忠敬		折方秀行			倉本耕治			河村正一		梅村伊津郎			兼本伸樹		杉浦俊太郎		
井上 元		池田武彦		安田誠一		中原佑介		高松屋暢克		9/1			藤原知明				中田秀哉
															NIE 推進部長		
										鈴木則子							
有松林太郎																	
光畑俊行																	

					佐々木角朗											
					黒瀬定生			岡田浩明			門野八洲雄					
岡山県生涯学習センター所長																
千葉喬三																
岡山大学副学長					6/14		岡山大学長									
角屋重樹					高旗正人					水野正憲			熊谷慎之輔			
広島大学大学院教育学研究科教授					中国学園大学子ども学部長					岡山大学大学院教育学研究科教授			岡山大学大学院教育学研究科准教授			
富岡賢治																
群馬県立女子大学長																

沼野忠之		岡山大学名誉教授	
永田 征		元国立吉備少年自然の家所長	



## 歴代職員一覧

年度		S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	
所 長		蓼丸博文		大家重夫		加藤史雄		永田 征			矢部吉貴		水澤幸雄	島岡		
庶務課長・次長		麻生祥三郎				伊森 保			平井 宏		林敬三郎					
事業課長		早川忠光		財部二千六			金子紀生		小林 清				澁谷			
庶務係長・企画調整係長・総務係長		河原孝輝			橋本 清		仁科幸雄		能勢 修			田口博之				
会計係長・活動支援係長・管理係長		山本辰雄		比砂生朗			山根博雄		上南博史			山本繁夫				
業務係長・事業サービス係長・事業推進係長		迫 豊人		沖永康男			木並良納		兼堀二次夫		山本繁夫		原 稔継			
専門職員・企画指導専門職	岡 山	難波雅俊			安達輝政			白神幹夫			山崎和光					
		大家一朗			眞野義一			河本敏則			貝原 寛					
	広 島	佐田谷加積		今川悠爾		佐藤 俊		弓戸勝幸		今田雄次						
	鳥 取	有田 晃		田口浩一郎			角田文雄		長谷紀男			吉田 譲				
	兵 庫															
	プロパー															
庶務係・企画調整係・総務係		岡崎房述			山本一美			川上浩司		内藤 聡						
		井上 修		向井重明		植木康治		木村 猛		山本純生		宅和 茂				
会計係・活動支援係・管理係		安田久司			古波蔵文雄		富山道仁		石崎邦雄		石井康裕					
		段田和政	古波蔵文雄	木村 猛			井上 修		爲永雅禎		甲 彰一		妹尾和成			
業務係・事業サービス係・事業推進係		植木康治			平川康弘			甲 彰一		森田浩司						
		向井重明		井上 修		阿部祐一		高取 仁			奥野弘康					
		木村 猛		古波蔵文雄		藤原高博		佐々岡伸明		直原哲治		坂部範章				
看護師		松田静恵														
自動車運転手		土居玉樹														
事務補佐員		平石浩美(佐原)			平川裕子(川上)			日名早苗				小童谷				
		加藤幸子(村林)			佐々岡久仁子(石本)			森田美貴子		山本由美子						
		香山玲子					川上和子(丸川)				三村みどり					
		井上真里子(畠木)					森田直美(森下)				畠山美由紀					
		小山 要														
		森 公三														
		横田良子		石黒純子		梅原志津恵(大釜)										



H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
八郎	橋口博芳	大内 剛	齊藤健司	結城義久	新宅鉄衛							井上信一				小林道正
谷川貴史		沖永康男	島崎繁春	番場葉一				山下文一				松崎順平			小林道正	江口峰男
健治	山崎喜三	島崎繁春	重田治良	久保田康男	松村純子											
	東 政文	藤元高德	西尾広治	原田大作	奥山浩一	岡田智宏										
原 稔継	松本洋介	横田智利	山下泰彦	大野勝久	甲 彰一	亀川雅美										
松本洋介	田中克英	龍王武志	島田文隆	橋本宏彦	妹尾和成	平井 章										
戸田 誠	赤田政嘉	田中道彦	山本 悟	中古浩一郎	森安洋博											
中尾雅文	岡 寿	小野一成	橋木英義	新田治彦	宇江 賢											
沖 章生	磯兼智道	河村勝司	低引晋司	石川順雄	堀 龍	村上聖一										
	山下伸明	中前雄一郎	藤山正明	東信太郎	山根光昭	飯石浩二										
			藤本浩士	竹原一典	山本哲也	中林晴之										
																渡邊剛志
伊藤直之	中村和宏											小野純太	秋山律子	須増和友		
前田文章	橋本宏彦	日高聡之														
	西嶋浩司	三宅 敦	岩崎哲也	久山航一	佐々木隆也											
藤井稔久	岡崎安洋	末石充生								土居玉樹					高山寛之	
宮本二郎	石田達彦	萬成利貴						三木秀一				秋山律子	平尾真也	佐伯大亮		
藤井俊則	六信 治	堀井 学	馬淵 圭	藤本義之	須増和友	藤井幸恵										
	赤松美行	若田裕史	鈴木千歳(沖野)	小野純太												
			土居玉樹													
輝美	清水嘉代子(小林)	水上恭子(嶋田)	竹南真名	小倉裕美	植木徳子	山根清美	広畑かおり									
笹田 恵	清本香織	笹田葉子	森麻祐子	永野 茜(清原)	西谷由紀	小山美幸										
上田詩子	難波由紀	植田優子	水信亜衣(草刈)	森田麻理子	松本代里子	日笠直実										
	川上明子(森下)	難波久美子	三木幸恵	石井明子	村上由記	西谷 諭										
			島瀬良章	六信 治	佐藤久美	石原美都子	木村優子									
				富田泰智	網嶋恒一	陶山由美子										



独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立吉備青少年自然の家  
**開所30周年記念誌**

発行日／平成24年11月2日

発行所／独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立吉備青少年自然の家

岡山県加賀郡吉備中央町吉川4393-82

電 話：(0866)56-7231

F A X：(0866)56-7235

E-mail：kibi@niye.go.jp

印刷／西尾総合印刷株式会社



参考 ■ 財団法人日本漢字能力検定協会「今年の漢字」

<http://www.kanken.or.jp/>

※「今年の漢字」は登録商標です。



## 「シンボルマーク」について

古くから、岡山県吉備地方に伝わる桃太郎伝説の桃を基調とし、雄大な吉備高原の背景を「ブルー」で、吉備の頭文字「K」を自然の中でたくましく躍動する少年の姿で表現しています。